

- ③ 研究規模は中学1～3年全学年を対象とする。まずは、すでに本校で実施しているアンケート「できるようになったこと」と「英検 Can-do リスト」をリンクさせることが中心になる。すなわち、過去6年間の全生徒が毎学期末に書いた「できるようになったこと」の中で「英検 Can-do リスト」にはない項目を拾う。
- ④ 英検 Can-do リスト（5級～準2級）の記述を実際に生徒に確認しながら中学生がわかるように書き直す。記述の裏にある skills と授業の中での具体的活動を明らかにする。授業の中での活動ができるようになったら英検何級に合格する可能性が高いのか、ガイドラインを策定する。

(注) 以下、「本校」とは筆者が平成20年3月31日まで勤務していた「東京都狛江市立狛江第一中学校」を指す。

3 Self-Access Language Learning (SALL)

3.1 SALL の概念

筆者が Self-Access Language Learning（以下 SALL と略す）という言葉に出会ったのは2006年1月であった。元清泉女学院短期大学教授・副学長の長江宏先生が前年に発表された資料をご本人からいただいたのがきっかけとなった。以下、その資料の中で筆者が注目した箇所を抜き出してみる。（下線は筆者による）

「文部科学省で実施した教育課程実施状況調査や各都道府県の教育委員会が実施した学力調査の結果を見ますと、いずれの場合も、学力を高めるためには、学習に対する関心・意欲・態度を育てることが必要であると強調しています。従来の教師から生徒への一方通行の知識注入方式では限界がある、ということではないでしょうか。」（長江, 2005）

長江がレファレンスとしている Gardner & Miller (1999) を読んでみると SALL の概念がよくわかる。

“The concept of ‘autonomous learning’ stemmed from debates about the development of life-long learning skills and the development of independent thinkers both of which originated in the 1960’s. By 1981 Holec (1981: 3) had defined autonomy as ‘the ability to take charge of one’s own learning’”

(Gardner & Miller, 1999, p.6)

“Gardner and Miller (1996: vii) define autonomous language learners as those who ‘initiate the planning and implementation of their own learning program’” (同上)

長江はさらに続ける。「self-access による英語学習を始めるとなると、教師の側も生徒の側も発想の転換が必要になります。まず生徒の側ですが、英語をマスターするという固い信念が必要になるでしょう。続いて目標をしっかりと立て、目標達成のための方略を立ち上げ、それらを自ら決定することではないでしょうか。これらはそれぞれの生徒の達成度に合わせたもので、個々の対応になることは言うまでもありません。教師の側はどうなるでしょうか。生徒の学習にとって教師の影響は大きなもので、大袈裟に言いますと将来を左右することもあり得ることで。しかし、教師自身が英語学習者としての経験を持っていますので、この経験が生徒の学習にとって有用であるという信念を持っている教師が多いはず。それに基づいて授業を組み立ててきた実践や長年の現場研究から、ともすると特定のアプローチやメソッドに傾いているという実態がないでもありません。それはそれで貴重なことですが、学習者中心の self-access となると授業内容・方法を思い切って変えていく必要があります。」

3.2 中学校現場における SALL と教師の役割

Gardner & Miller (1999) は SALL における教師の役割を次のように分類している。

“Teachers to perform the rolls of:

- information provider
- counsellor
- authentic language user
- manager
- materials writer
- assessor
- evaluator
- administrator
- organiser”

(Gardner & Miller, 1999, p.9)

information provider, authentic language user, manager, materials writer, evaluator は通常の—

斉授業でも役割があるが、counsellor, assessor, administrator, organiser としての教師の役割を本校の少人数授業で生徒の自学力を伸ばす個人指導にどう位置付けているのかを以下に述べる。

① counsellor

本校は2学期制をとっている。前期・後期の最後の1時間を英語科はコンサルテーション(consultation)の時間になっている。具体的には少人数授業の担当教師が担当生徒の1人1人と面談をするのである。面談の流れは次のとおりである。

ア 「今学期の英語学習はどうでしたか？」と生徒に尋ねる。

イ 4観点について自己評価カードと成績個人カードを見せながら話す。

ウ 次年度(次学期)の目標を問う。

例) 3年生の目標

英検()級合格

定期テスト()点以上・その他()力のある生徒には英検3級、準2級受験を勧める。

* 面談を待っている生徒は「後期の英語学習を振り返って」のプリントを記入する。

② assessor, administrator

前任校では生徒の成績はすべてパソコン上で処理していた。しかし、パソコンの画面は全体の様子を知るときには便利だが、個人の成績をまとめて見るのには向いていないことに気付いた。そこで本校に赴任して少人数授業を始めるにあたって、医師が作る患者のカルテのようなものを作ることにした。これによって learner profile が確実に見えることになった。

学期末には前述のようにこれを使ってコンサルテーションを行うのみならず、夏休み前にはこのカルテを生徒と保護者に渡して夏休みの学習の一助にしている。

③ organiser

授業中と家庭での生徒の自学につながる学習をオーガナイズし、誤りを指摘したり励ましの言葉を書いたりする。主なものを次に挙げる。

ア 辞書指導

イ ビンゴ用紙の記入

ウ ワークブックのやり方

エ 音読のやり方

オ ディクテーションテストのための勉強の仕方

カ 定期テストの勉強の仕方

キ 「ライティング・ノート」のやり方と提出の仕方

ク 「ボキャブラリー・ノート」のやり方

ケ 既習語彙・既習文法の復習プリント「English Express」のやり方

4 中学版 Can-do リスト

4.1 テーマ設定の理由

「英検 Can-do リスト」は技能別に英検合格者が自信のある項目が列挙されている。ただこの「英検 Can-do リスト」は一般の中学生では理解できない表現があちこちに見られる。そこで中学生に理解できるように記述を簡単にすると同時に授業でどんなことができればその記述にあてはまるのか具体的に示せれば、と考えた。

4.2 中学版 Can-do リスト作り

2007年10月1日に英検 HP 上に公開された「英検 Can-do リスト」をダウンロードし、中学生が理解できないような表現を易しくして書き直し、さらに必要な項目を足し、より具体的な表現になるようにした。これを「英検 Can-do リスト北原改訂案」と呼ぶ。

そして10月15日に筆者が主宰する北研(英語基本指導技術研究会)の全国の会員と筆者が研究部長を務める都中英研研究部員に「中学版 Can-do リストへの協力依頼」と「英検 Can-do リスト北原改訂案」を送って、さらなる改善案を募った。改善案を寄せてくださった18名の先生方は実に詳しく改善点を記述してくださった。それらをほぼ全部生かして「中学版 Can-do リスト」が完成した。

4.3 英検 Can-do リストとの項目の相違

「英検 Can-do リスト」と「中学版 Can-do リスト」の項目数における相違点は表1のとおりである。ほぼすべての級と技能において中学版の方が項目数が多い。これは特に中学の級である3級～5級

で授業での活動が多岐にわたるためである。また英検版にはないが、中学版には大切な要素である「語い」を入れた。その他、英検版では各級各技能のトップに全体を表すような記述が1行入っているが、中学版では削除した。

■表1：英検 Can-do リストと中学版 Can-do リストの相違点

項目数における相違

	準2級		3級		4級		5級	
	英検	中学	英検	中学	英検	中学	英検	中学
読む	4	6	5	9	6	8	5	9
聞く	6	6	5	6	4	6	5	6
話す	6	7	6	8	4	7	6	9
書く	5	5	6	6	4	7	4	6
語い		1		1		1		1

4.4 予備調査

本調査を始める前に本校の生徒を使って予備調査を2007年11月5日に行った。目的は本調査の前に不具合がないか確かめるためである。2007年11月5日の時点で英検準2級、3級、4級、5級を取得していた合計56名が被験者になった。その結果、不具合は見つからなかった。さらに、調査に必要なおおよその時間（10分程度）もわかった。

4.5 本調査

4.5.1 規模と実施方法

2007年11月5日より調査協力者へ、「中学版 Can-do リスト アンケート」を送付した。規模は以下のとおりである。

■表2：準2級 Can-do リスト

No.	読む
1	簡単な説明文を理解することができる。(外国の生活や文化を紹介する教材、動物園やテーマパークなどの案内やパンフレットなど)
2	公共の施設(駅・劇場・デパート、動物園、テーマパークなど)や乗り物にあるお知らせや注意事項を理解することができる。(会場使用上の注意など)
3	簡単に描かれた図や表から、必要な情報を得ることができる。(いろいろな調査の結果のグラフなど)
4	乗り物の時刻表を見て、目的地や到着時刻などの情報を得ることができる。
5	知らない単語があっても気にせず長文を読んで理解することができる。
6	初めて見る文章でもだいたい音読できる。

参加校 全国合計 54校

北海道8校、秋田県1校、群馬県1校、埼玉県3校、東京都23校、千葉県1校、神奈川県2校、長野県1校、大阪府2校、鳥取県2校、山口県1校、高知県3校、長崎県1校、佐賀県3校、熊本県2校

被験者数 全国合計 2,787名

準2級 143名

3級 660名

4級 1,119名

5級 865名

(取得時期は2007年度第1回検定まで)

実施方法は質問紙の各項目中で「あてはまる」、「だいたいあてはまる」と思うものを選んで回答用紙(別紙)に○をつけてもらう方法である。所要時間は予備調査で10分程度とわかったので、昼休みや放課後の時間を使って実施してもらうようお願いした。

4.5.2 中学版 Can-do リストと英検 Can-do リストの比較

「英検 Can-do リスト」のキー項目は膨大なデータをもとに作られているので、「中学版 Can-do リスト」ではそれを大きく変えてしまうことで信頼性を失うことのないように努めた。実際には生徒にわかりやすいように具体的な表現を追加することを中心とした。「英検 Can-do リスト」に修正・追加を加えた部分には網掛けがしてある。番号にも網掛けがしてある項目は「英検 Can-do リスト」にはない新規の項目である。

聞く	
1	興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。(趣味に関すること、好きな音楽やスポーツのことなど)
2	日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、その内容を理解することができる。(学校、クラブ活動、週末の話など)
3	先生が授業中に使う英語(指示や簡単な説明など)をほぼ理解することができる。
4	電車内・駅・空港などで簡単なアナウンスを聞いて、理解することができる。(天気予報、集合場所、乗り物の出発や到着時刻など)
5	簡単な道案内を聞いて、理解することができる。(例: Go straight and turn left at the next corner.)
6	簡単な内容であれば、電話で相手の話を理解することができる。(日時の約束、短い伝言など)
話す	
1	興味・関心のあることについて、自分の考えを述べたり説明することができる。(好きな音楽やスポーツ、趣味に関することなど)
2	自分の将来の夢や希望について、話すことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など)
3	理由も述べながら自分の気持ちを表現することができる。(うれしい、悲しい、さびしいなど)
4	簡単な約束をすることができる。(会う場所や時間など)
5	ファーストフード・レストランでメニューを見ながら注文をすることができる。(食べ物、飲み物、サイズなど)
6	電話で簡単な表現や決まり文句を使って応答をすることができる。(例: Please wait a moment. / Hold on. / Speaking.)
7	1枚の絵を4~5文程度で説明することができる。(例: 人物の特徴や動作、物の位置・形・色・など)
書く	
1	自分の将来の夢や希望について、書くことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など)
2	自分のお気に入りのもの、身近なものを紹介する簡単な文章を書くことができる。(自分のペット、好きな本、部活、学校生活など)
3	短い手紙(Eメール)を書くことができる。(友達やペンフレンドへの簡単な手紙など)
4	簡単なお知らせを書くことができる。(パーティーの日時や場所、文化祭の日程など)
5	簡単な予定を手帳やカレンダーなどに書き込むことができる。(例: Meet Yoko at the station at ten / Go shopping with Jill)
語い	
1	1分間で「教室にあるもの」「前置詞」「感情や体調を表す形容詞」に属する語を10以上書くことができる。(つづり間違いがあっても構わない)

■表3: 3級 Can-do リスト

No.	読む
1	日常生活の身近な話題についての文章を理解することができる。(学校生活、スポーツ、音楽など)
2	教科書の読み物教材などの短くて簡単な物語を理解することができる。(簡単な伝記や童話など)
3	日本語の注や説明がついた簡単な読み物を理解することができる。(学校の課題図書、学習者向けの物語など)
4	興味のある話題について書かれた文章なら知らない単語がいくつかあってもだいたい内容理解ができる。
5	簡単に書かれた英語の道案内を見て、通りや店、病院などを探すことができる。
6	3年生の教科書程度の長文を読んでほしいの内容をつかむことができる。
7	3年生の教科書程度の長文の中から必要な情報を見つけることができる。
8	初めて見る文章でも意味を考えながらだいたい音読できる。
9	2年生後半~3年生前半の教科書をスラスラ音読できる。

聞く	
1	ゆっくり(または繰り返して)話されれば、興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。(趣味に関すること、好きな音楽やスポーツのことなど)
2	ゆっくり(または繰り返して)話されれば、日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、その内容を理解することができる。(学校、クラブ活動、週末の話など)
3	ゆっくり(または繰り返して)話されれば、簡単なアナウンスを聞いて、重要な情報を理解することができる。(集合場所、乗り物の出発や到着時刻など)
4	ゆっくり(または繰り返して)話されれば、簡単な道案内を聞いて、行き方を理解することができる。(例: Go straight and turn left at the next corner.)
5	よく使われる表現であれば、単語がつながって発音されても、その意味を理解することができる。(Come in. が「カミン」、Don't you? が「ドンチュー」のように聞こえるなど)
6	先生が教科書の内容を説明する英語がだいたいわかる。
話す	
1	物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を簡単に述べることができる。(動物、食べ物、スポーツなど)
2	日常生活の行動について話すことができる。(例: I got up at seven. / I ate some bread for breakfast.)
3	自分の予定を簡単に言うことができる。(例: I'm going to meet my friends.) 予定を聞かれて簡単に答えることができる。(例: What's your plan for Sunday? — I'm going to watch movies.)
4	簡単な頼みごとをすることができる。(例: Can you open the window, please?) 頼みごとについて引き受けたり、断ったりできる。(例: Sure. / Sorry, I can't.)
5	身近なことで相手を誘うことができる。(例: Let's go to a movie tonight.)
6	簡単な相づちを打つことができる。(例: I see. / Really?)
7	過去や未来の日常生活の身近な話題について、What, Who, Where, When, Howなどで始まる質問に簡単な文で答えたり、相手にも質問することができる。
8	つなぎ言葉(Really? / I see. など)を使える。
書く	
1	10文程度で自己紹介の文章を書くことができる。
2	自分の趣味について、4～5文のわかりやすいまとまった文章を書くことができる。
3	物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。(食べ物、スポーツ、音楽など)
4	短い日記を書くことができる。(3～5文程度)
5	簡単なカード、はがき、メールを書くことができる。(誕生日カード、旅行先からの絵はがき、e-mail など)
6	短い伝言を書くことができる。(例: Ken called at 3 p.m.)
語い	
1	1分間で「色」「形容詞」「スポーツ」に属する語を10以上書くことができる。(つづり間違いがあっても構わない)

■表4: 4級 Can-do リスト

No.	読む
1	英和辞書をひいて本文に合う意味を見つけることができる。
2	日常生活の身近なことを表す文を理解することができる。(例: Ken went to the park and played soccer with his friends.)
3	公共の施設などにある簡単な表示・掲示を理解することができる。(例: No Smoking / Closed / No Dogs)
4	ファーストフード店やレストランにある簡単な英語のメニューを理解することができる。(食べ物や飲み物の名前や値段など)
5	パーティーなどの招待状や案内のポスターや簡単なお知らせなどの内容を理解することができる。(日時、場所など)

6	新語 (new words) の意味がわかれば、教科書などにある短い手紙 (Eメール) を理解することができる。(家族の紹介, 旅行の思い出など)
7	新語 (new words) の意味がわかれば、2年生の教科書などにあるイラストや写真のついた簡単な物語を理解することができる。(子供向けの絵本や教科書の Let's Read や Reading のような読み物のページなど)
8	2年教科書の前半部分の本文をスラスラ音読できる。
	聞く
1	簡単な自己紹介を聞いて、その内容を理解することができる。(名前, 住んでいるところ, 家族など)
2	簡単な文章を聞いて、その内容を理解することができる。(例: My sister and I want a pet. I like dogs, but she likes cats. What shall we do?)
3	簡単な指示を聞いて、その意味を理解して行動に移すことができる。(例: Open your textbook. / Close the door, please.)
4	人のいる場所, 物の位置を聞いて、理解することができる。(例: The book is on the TV. / There are four boys in the room.)
5	簡単な対話を聞いて、話されている内容を理解することができる。
6	先生の話す英語が半分くらいわかる。
	話す
1	これまでに習った文法事項や語いを使って、7文程度の簡単な自己紹介をすることができる。(名前, 住んでいるところ, 家族など)
2	簡単な質問をすることができる。(時刻, 好きなもの, 相手の名前など)
3	相手の言うことがわからないときに、聞き返すことができる。(例: Pardon? / Will you speak more slowly?)
4	日付や曜日を文で (It's Monday, など) 言うことができる。
5	日常生活の身近な話題について、What, Who, Where, When, How などではまる簡単な質問に答えることができる。
6	友達と4行程度の簡単なペアワーク (対話) ができる。
7	原稿を書けば将来の夢などのスピーチができる。
	書く
1	簡単な文やメモを書くことができる。
2	短い文であれば、正しい英語の語順で書くことができる。(例: I went to the park yesterday.)
3	語句を並べて短いメモを書くことができる。(例: birthday party at 6 p.m.)
4	教科書の対話の一部を変えてスキット (寸劇) を書くことができる。
5	教科書やモデルを参考にして将来の夢のスピーチ原稿を書くことができる。
6	文と文を接続詞 (and / but / so / when / because など) でつなげて書くことができる。
7	和英辞典を使って、自分の気持ちや考えを書くことができる。
	語い
1	教科書に出てくる語のうち、難しい語以外は意味もわかるしつづりもだいたい書ける。

■ 表 5 : 5 級 Can-do リスト

No.	読む
1	アルファベットの大文字と小文字が読める。
2	アルファベットが順番どおりに言える。
3	ピリオド (.), クエスチョンマーク (?), カンマ (,), 引用符 (" "), 感嘆符 (!) を理解することができる。
4	英和辞書をひいて目的の語を見つけることができる。
5	日常生活の身近な単語を読んで理解することができる。(例: dog / eat / happy)
6	日常生活の身近な語句を読んで理解することができる。(例: in the morning, at home)

7	日常生活の身近なことを表す簡単な文を理解することができる。(例：I play tennis every day.)
8	日常生活の身近なことを表す簡単な2文以上の文章を理解することができる。
9	教科書をスラスラ音読できる。
聞く	
1	初歩的な語句や決まり文句を聞いて理解することができる。(Three books. / I don't know. / Here you are. など)
2	アルファベットを聞いて、どの文字かを思い浮かべることができる。
3	日常生活の身近な単語を聞いて、その意味を理解することができる。(例：dog / eat)
4	曜日、日付、天候を聞き取ることができる。(例：Monday, September 14, cloudy)
5	日常生活の身近な数字を聞き取ることができる。(電話番号、時間、年齢など)
6	日常的なあいさつを理解することができる。(例：How are you? / Nice to meet you.)
話す	
1	アルファベットを見てその文字を発音することができる。
2	日常生活の身近な単語を発音することができる。(例：dog / eat / happy)
3	日常生活の身近な数字を言うことができる。(電話番号、時間、年齢など)
4	簡単なあいさつをかわすことができる。(例：Good morning. / Good night.)
5	あやまったり、お礼を言ったりすることができる。(例：I'm sorry. / Thank you.)
6	日常生活の身近な話題について、Yes / No で答える質問に答えることができる。(['好き』『嫌い』など)
7	日常生活の身近な話題について、What, Who, Where, When, How などではまる質問に短く簡単に答えることができる。(Where do you live? - In Shibuya. など)
8	3～5文で自己紹介や家族・友達紹介ができる。
9	友達と2行の簡単なペアワーク(対話)ができる。
書く	
1	アルファベットの太文字と小文字が書ける。
2	英語の書き方のきまりに合わせて正しく文が書ける。(先頭は大文字、単語と単語の間は少しはなす、文の最後にはピリオド(.) かクエスチョンマーク(?) など)
3	黒板に書かれた文や教科書の文を正しくノートに写せる。
4	重要単語(例：教科書で太字になっている)なら半分くらいは書ける。
5	語句を並べて短いメモを書くことができる。(例：party, 6:00)
6	短い文であれば、英語の語順で書くことができる。(例：I go to school at eight.)
語い	
1	教科書に出てくる語のうち、簡単な語は発音できるし、意味もわかる。

4.5.3 調査結果

全国54校からの2,787名のアンケート調査をまとめてみたのが、表6である。各級の下の方の2行がその項目が「あてはまる」、「だいたいあてはまる」と思った被験者数とそのパーセンテージである。

4.5.4 分析

- ① どの級にもそれほどの難易度の差は見られない。また、4級の「書く」の4番(52%)以外、質問項目が難しすぎたものもない。
- ② 自信の度合いが高かった(被験者の80%以上が選択)項目は次のリストの網掛けになっている項目である。
- ③ 自信の度合いが低かった(被験者の69%以下が選択)項目は次のリストの網掛けになっている項目である。

■ 表 6：中学版 Can-do リスト集計表 (全国版)

中学版 Can-do リスト集計表 (全国版)
15 都道府県, 54 校, 2,787 名の英検合格者データ

準 2 級

技能	読む					聞く					話す					書く					話し				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
問題番号	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1
被験者数	143	125	116	112	113	102	102	116	127	103	116	106	113	117	107	92	105	102	109	122	121	99	91	104	112
%	100%	87%	81%	78%	79%	71%	71%	78%	81%	89%	72%	81%	74%	79%	82%	75%	64%	73%	71%	76%	85%	85%	69%	64%	73%

3 級

技能	読む					聞く					話す					書く					話し										
	1	2	3	4	5	6 <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>1</td>	7	8	9	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5		6	7	8	1	2	3	4	5	6	1
問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	1	
被験者数	660	587	604	510	499	486	562	474	477	468	617	594	510	483	511	543	599	600	562	559	528	563	529	493	520	499	520	487	403	435	541
%	100%	89%	92%	77%	76%	74%	85%	72%	72%	71%	93%	90%	77%	73%	77%	82%	91%	91%	85%	80%	85%	80%	80%	75%	79%	76%	76%	61%	66%	82%	

4 級

技能	読む					聞く					話す					書く					話し										
	1	2	3	4	5	6 <td>7</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>1</td>	7	8	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		7	1	2	3	4	5	6	7	1	
問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1		
被験者数	1119	966	981	901	882	850	869	878	773	996	907	948	866	838	854	987	860	922	896	764	678	887	958	803	578	716	824	765	774		
%	100%	86%	88%	81%	79%	76%	78%	78%	69%	89%	81%	85%	83%	77%	75%	76%	88%	77%	82%	80%	68%	61%	79%	86%	72%	52%	64%	74%	68%	69%	

5 級

技能	読む					聞く					話す					書く					話し											
	1	2	3	4	5	6 <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>1</td>	7	8	9	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5		6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	1
問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	1	
被験者数	865	805	806	777	790	804	767	787	741	651	760	790	797	789	740	786	792	799	756	797	800	773	688	712	693	810	789	794	711	672	750	773
%	100%	93%	93%	90%	91%	93%	89%	91%	86%	75%	88%	91%	92%	91%	86%	91%	92%	92%	87%	92%	92%	89%	80%	82%	80%	94%	91%	92%	82%	78%	87%	89%

(注) 各項目の上段は生データ(人), 下段はその項目に○をつけた生徒の全体に対する割合。

■表7：中学版準2級 Can-do リスト

No.	読む
1	簡単な説明文を理解することができる。(外国の生活や文化を紹介する教材、動物園やテーマパークなどの案内やパンフレットなど)
2	公共の施設(駅・劇場・デパート、動物園、テーマパークなど)や乗り物にあるお知らせや注意事項を理解することができる。(会場使用上の注意など)
3	簡単に描かれた図や表から、必要な情報を得ることができる。(いろいろな調査の結果のグラフなど)
4	乗り物の時刻表を見て、目的地や到着時刻などの情報を得ることができる。
5	知らない単語があっても気にせず長文を読んで理解することができる。
6	初めて見る文章でもだいたい音読できる。
	聞く
1	興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。(趣味に関すること、好きな音楽やスポーツのことなど)
2	日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、その内容を理解することができる。(学校、クラブ活動、週末の話など)
3	先生が授業中に使う英語(指示や簡単な説明など)をほぼ理解することができる。
4	電車内・駅・空港などで簡単なアナウンスを聞いて、理解することができる。(天気予報、集合場所、乗り物の出発や到着時刻など)
5	簡単な道案内を聞いて、理解することができる。(例：Go straight and turn left at the next corner.)
6	簡単な内容であれば、電話で相手の話を理解することができる。(日時の約束、短い伝言など)
	話す
1	興味・関心のあることについて、自分の考えを述べたり説明することができる。(好きな音楽やスポーツ、趣味に関することなど)
2	自分の将来の夢や希望について、話すことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など)
3	理由も述べながら自分の気持ちを表現することができる。(うれしい、悲しい、さびしいなど)
4	簡単な約束をすることができる。(会う場所や時間など)
5	ファーストフード・レストランでメニューを見ながら注文をすることができる。(食べ物、飲み物、サイズなど)
6	電話で簡単な表現や決まり文句を使って応答をすることができる。(例：Please wait a moment. / Hold on. / Speaking.)
7	1枚の絵を4～5文程度で説明することができる。(例：人物の特徴や動作、物の位置・形・色・など)
	書く
1	自分の将来の夢や希望について、書くことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など)
2	自分のお気に入りのもの、身近なものを紹介する簡単な文章を書くことができる。(自分のペット、好きな本、部活、学校生活など)
3	短い手紙(Eメール)を書くことができる。(友達やペンフレンドへの簡単な手紙など)
4	簡単なお知らせを書くことができる。(パーティーの日時や場所、文化祭の日程など)
5	簡単な予定を手帳やカレンダーなどに書き込むことができる。(例：Meet Yoko at the station at ten / Go shopping with Jill)
	語い
1	1分間で「教室にあるもの」「前置詞」「感情や体調を表す形容詞」に属する語を10以上書くことができる。(つづり間違いがあっても構わない)

■ 表 8：中学版 3 級 Can-do リスト

No.	読む
1	日常生活の身近な話題についての文章を理解することができる。(学校生活、スポーツ、音楽など)
2	教科書の読み物教材などの短くて簡単な物語を理解することができる。(簡単な伝記や童話など)
3	日本語の注や説明がついた簡単な読み物を理解することができる。(学校の課題図書、学習者向けの物語など)
4	興味のある話題について書かれた文章なら知らない単語がいくつかあってもだいたい内容理解ができる。
5	簡単に書かれた英語の道案内を見て、通りや店、病院などを探すことができる。
6	3年生の教科書程度の長文を読んでもだいたい内容をつかむことができる。
7	3年生の教科書程度の長文の中から必要な情報を見つけることができる。
8	初めて見る文章でも意味を考えながらだいたい音読できる。
9	2年生後半～3年生前半の教科書をスラスラ音読できる。
	聞く
1	ゆっくり(または繰り返し)話されれば、興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。(趣味に関すること、好きな音楽やスポーツのことなど)
2	ゆっくり(または繰り返し)話されれば、日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、その内容を理解することができる。(学校、クラブ活動、週末の話など)
3	ゆっくり(または繰り返し)話されれば、簡単なアナウンスを聞いて、重要な情報を理解することができる。(集合場所、乗り物の出発や到着時刻など)
4	ゆっくり(または繰り返し)話されれば、簡単な道案内を聞いて、行き方を理解することができる。(例：Go straight and turn left at the next corner.)
5	よく使われる表現であれば、単語がつながって発音されても、その意味を理解することができる。(Come in. が「カミン」、Don't you? が「ドンチュー」のように聞こえるなど)
6	先生が教科書の内容を説明する英語がだいたいわかる。
	話す
1	物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を簡単に述べるができる。(動物、食べ物、スポーツなど)
2	日常生活の行動について話すことができる。(例：I got up at seven. / I ate some bread for breakfast.)
3	自分の予定を簡単に言うことができる。(例：I'm going to meet my friends.) 予定を聞かれて簡単に答えることができる。(例：What's your plan for Sunday? - I'm going to watch movies.)
4	簡単な頼みごとをすることができる。(例：Can you open the window, please?) 頼みごとについて引き受けたり、断ったりできる。(例：Sure. / Sorry, I can't.)
5	身近なことで相手を誘うことができる。(例：Let's go to a movie tonight.)
6	簡単な相づちを打つことができる。(例：I see. / Really?)
7	過去や未来の日常生活の身近な話題について、What, Who, Where, When, How などではまる質問に簡単な文で答えたり、相手にも質問することができる。
8	つなぎ言葉 (Really? / I see. など) を使える。
	書く
1	10文程度で自己紹介の文章を書くことができる。
2	自分の趣味について、4～5文のわかりやすいまとまった文章を書くことができる。
3	物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。(食べ物、スポーツ、音楽など)
4	短い日記を書くことができる。(3～5文程度)
5	簡単なカード、はがき、メールを書くことができる。(誕生日カード、旅行先からの絵はがき、e-mail など)
6	短い伝言を書くことができる。(例：Ken called at 3 p.m.)
	語い
1	1分間で「色」「形容詞」「スポーツ」に属する語を10以上書くことができる。(つづり間違いがあっても構わない)

■表 9：中学版 4 級 Can-do リスト

No.	読む
1	英和辞書をひいて本文に合う意味を見つけることができる。
2	日常生活の身近なことを表す文を理解することができる。(例：Ken went to the park and played soccer with his friends.)
3	公共の施設などにある簡単な表示・掲示を理解することができる。(例：No Smoking / Closed / No Dogs)
4	ファーストフード店やレストランにある簡単な英語のメニューを理解することができる。(食べ物や飲み物の名前や値段など)
5	パーティーなどの招待状や案内のポスターや簡単なお知らせなどの内容を理解することができる。(日時、場所など)
6	新語 (new words) の意味がわかれば、教科書などにある短い手紙 (Eメール) を理解することができる。(家族の紹介、旅行の思い出など)
7	新語 (new words) の意味がわかれば、2年生の教科書などにあるイラストや写真のついた簡単な物語を理解することができる。(子供向けの絵本や教科書の Let's Read や Reading のような読み物のページなど)
8	2年教科書の前半部分の本文をスラスラ音読できる。
	聞く
1	簡単な自己紹介を聞いて、その内容を理解することができる。(名前、住んでいるところ、家族など)
2	簡単な文章を聞いて、その内容を理解することができる。(例：My sister and I want a pet. I like dogs, but she likes cats. What shall we do?)
3	簡単な指示を聞いて、その意味を理解して行動に移すことができる。(例：Open your textbook. / Close the door, please.)
4	人のいる場所、物の位置を聞いて、理解することができる。(例：The book is on the TV. / There are four boys in the room.)
5	簡単な対話を聞いて、話されている内容を理解することができる。
6	先生の話す英語が半分くらいわかる。
	話す
1	これまでに習った文法事項や語いを使って、7文程度の簡単な自己紹介をすることができる。(名前、住んでいるところ、家族など)
2	簡単な質問をすることができる。(時刻、好きなもの、相手の名前など)
3	相手の言うことがわからないときに、聞き返すことができる。(例：Pardon? / Will you speak more slowly?)
4	日付や曜日を文で (It's Monday. など) 言うことができる。
5	日常生活の身近な話題について、What, Who, Where, When, How などではまる簡単な質問に答えることができる。
6	友達と4行程度の簡単なペアワーク (対話) ができる。
7	原稿を書けば将来の夢などのスピーチができる。
	書く
1	簡単な文やメモを書くことができる。
2	短い文であれば、正しい英語の語順で書くことができる。(例：I went to the park yesterday.)
3	語句を並べて短いメモを書くことができる。(例：birthday party at 6 p.m.)
4	教科書の対話の一部を変えてスキット (寸劇) を書くことができる。
5	教科書やモデルを参考にして将来の夢のスピーチ原稿を書くことができる。
6	文と文を接続詞 (and / but / so / when / because など) でつなげて書くことができる。
7	和英辞典を使って、自分の気持ちや考えを書くことができる。
	語い
1	教科書に出てくる語のうち、難しい語以外は意味もわかるしつづりもだいたい書ける。

■ 表 10：中学版 5 級 Can-do リスト

No.	読む
1	アルファベットの大文字と小文字が読める。
2	アルファベットが順番どおりに言える。
3	ピリオド (.), クエスチョンマーク (?), カンマ (,), 引用符 (" "), 感嘆符 (!) を理解することができる。
4	英和辞書をひいて目的の語を見つけることができる。
5	日常生活の身近な単語を読んで理解することができる。(例: dog / eat / happy)
6	日常生活の身近な語句を読んで理解することができる。(例: in the morning, at home)
7	日常生活の身近なことを表す簡単な文を理解することができる。(例: I play tennis every day.)
8	日常生活の身近なことを表す簡単な 2 文以上の文章を理解することができる。
9	教科書をスラスラ音読できる。
	聞く
1	初歩的な語句や決まり文句を聞いて理解することができる。(Three books. / I don't know. / Here you are. など)
2	アルファベットを聞いて、どの文字かを思い浮かべることができる。
3	日常生活の身近な単語を聞いて、その意味を理解することができる。(例: dog / eat)
4	曜日, 日付, 天候を聞き取ることができる。(例: Monday, September 14, cloudy)
5	日常生活の身近な数字を聞き取ることができる。(電話番号, 時間, 年齢など)
6	日常的なあいさつを理解することができる。(例: How are you? / Nice to meet you.)
	話す
1	アルファベットを見てその文字を発音することができる。
2	日常生活の身近な単語を発音することができる。(例: dog / eat / happy)
3	日常生活の身近な数字を言うことができる。(電話番号, 時間, 年齢など)
4	簡単なあいさつをかわすことができる。(例: Good morning. / Good night.)
5	あやまったり, お礼を言ったりすることができる。(例: I'm sorry. / Thank you.)
6	日常生活の身近な話題について, Yes / No で答える質問に答えることができる。([好き][嫌い] など)
7	日常生活の身近な話題について, What, Who, Where, When, How などではまる質問に短く簡単に答えることができる。(Where do you live? - In Shibuya. など)
8	3～5 文で自己紹介や家族・友達紹介ができる。
9	友達と 2 行の簡単なペアワーク (対話) ができる。
	書く
1	アルファベットの大文字と小文字が書ける。
2	英語の書き方のきまりに合わせて正しく文が書ける。(先頭は大文字, 単語と単語の間は少しはなす, 文の最後にはピリオド (.) かクエスチョンマーク (?) など)
3	黒板に書かれた文や教科書の文を正しくノートに写せる。
4	重要単語 (例: 教科書で太字になっている) なら半分くらいは書ける。
5	語句を並べて短いメモを書くことができる。(例: party, 6:00)
6	短い文であれば, 英語の語順で書くことができる。(例: I go to school at eight.)
	語い
1	教科書に出てくる語のうち, 簡単な語は発音できるし, 意味もわかる。

5 研究結果

5.1 リスト有効性の検証結果とその分析

5.1.1 検証方法と規模

中学版 Can-do リストの有効性を検証するために英検級取得者（2007年度第2回まで）に対して次のような調査を行った。

- ① 対象：狛江第一中学校2年生全員（115名）
- ② 目的：昨年北原が作った中学版 Can-do リストの信頼性を確かめる
- ③ 日時：3月18日（火）2校時3, 4組
21日（金）2校時5, 6組
- ④ 方法
 - ア 英検4級～3級を取得している者は2種類（自分の取得級とそのすぐ上の級）を行う。
英検無受験者と5級のみ取得者は全員4級

を行う。

英検準2級取得者は準2級のみを行う。

（複数級を取得しているものは一番上の級を行う）

- イ それぞれの級の問題用紙（準2級と3級は表裏印刷になっているので注意）と回答用紙を取る。（問題用紙は終わったら戻して再利用）
- ウ 「あてはまる」, 「だいたいあてはまる」項目に○をつけさせる。質問があったら例を挙げてよい。
- エ 回答用紙を回収して級別、取得者別に仕訳しておく。
- オ 級別、取得者別に集計用紙に集計する。

5.1.2 分析結果

表11は前述調査の集計結果である。

■ 表 11：「中学版 Can-do リスト」検証調査結果

生データ

準2級（準2級取得者）被験者1名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	1			1	1
2	1		1	1	
3		1	1		
4		1			
5	1	1		1	
6	1	1	1		
7			1		

パーセンテージ

準2級（準2級取得者）被験者1名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	100%	0%	0%	100%	100%
2	100%	0%	100%	100%	
3	0%	100%	100%	0%	
4	0%	100%	0%	0%	
5	100%	100%	0%	100%	
6	100%	100%	100%		
7			100%		

準2級（3級取得者）被験者27名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	25	26	25	23	21
2	22	20	26	23	
3	16	20	18	13	
4	20	14	19	14	
5	15	20	12	17	
6	15	22	9		
7			20		
平均	18.8	20.3	18.4	18	21

準2級（3級取得者）被験者27名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	93%	96%	93%	85%	78%
2	81%	74%	96%	85%	
3	59%	74%	67%	48%	
4	74%	52%	70%	52%	
5	56%	74%	44%	63%	
6	56%	81%	33%		
7			74%		
平均	70%	75%	68%	67%	78%

3 級（3 級取得者）被験者 28 名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	25	28	27	26	23
2	25	28	26	26	
3	25	21	28	25	
4	25	25	26	19	
5	26	23	26	16	
6	20	28	27	21	
7	14		21		
8	24		24		
9	13				
平均	21.9	25.5	25.6	22.2	23

3 級（3 級取得者）被験者 28 名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	89%	100%	96%	93%	82%
2	89%	100%	93%	93%	
3	89%	75%	100%	89%	
4	89%	89%	93%	68%	
5	93%	82%	93%	57%	
6	71%	100%	96%	75%	
7	50%		75%		
8	86%		86%		
9	46%				
平均	78%	91%	92%	79%	82%

3 級（4 級取得者）被験者 24 名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	18	20	17	14	14
2	20	18	18	13	
3	15	18	12	13	
4	9	16	15	11	
5	18	19	13	7	
6	5	15	16	12	
7	3		15		
8	14		14		
9	7				
平均	12.1	17.7	15.0	11.7	14

3 級（4 級取得者）被験者 24 名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	75%	83%	71%	58%	58%
2	83%	75%	75%	54%	
3	63%	75%	50%	54%	
4	38%	67%	63%	46%	
5	75%	79%	54%	29%	
6	21%	63%	67%	50%	
7	13%		63%		
8	58%		58%		
9	29%				
平均	50%	74%	63%	49%	58%

4 級（4 級取得者）被験者 25 名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	20	24	18	17	14
2	22	21	23	23	
3	23	23	21	13	
4	17	19	22	18	
5	21	17	17	20	
6	18	15	17	15	
7	20		22	17	
8	18				
平均	19.9	19.8	20.0	17.6	14

4 級（4 級取得者）被験者 25 名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	80%	96%	72%	68%	56%
2	88%	84%	92%	92%	
3	92%	92%	84%	52%	
4	68%	76%	88%	72%	
5	84%	68%	68%	80%	
6	72%	60%	68%	60%	
7	80%		88%	68%	
8	72%				
平均	80%	79%	80%	70%	56%

4 級 (4 級非取得者) 被験者 61 名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	45	54	34	32	17
2	45	30	49	44	
3	43	44	53	17	
4	48	45	40	21	
5	34	32	27	32	
6	25	29	25	13	
7	30		32	19	
8	32				
平均	37.8	36.5	37.1	25.4	17

次に表12, 13を見ると, 被験者の多かった3級, 4級については取得者と非取得者の間で自信の度合いに大きく差が開いている。これだけの差が出た結果を見ると中学版 Can-do リストの有効性は高いと言えるだろう。

■ 表12: 3級取得者と非取得者における自信の度合いの違い

3級リスト	読む	聞く	話す	書く	語い
3級取得者	78%	91%	92%	79%	82%
同 非取得者	50%	74%	63%	49%	58%
差	28	17	29	30	24

特に「読む」, 「話す」, 「書く」の技能で差が大きい。

■ 表13: 4級取得者と非取得者における自信の度合いの違い

4級リスト	読む	聞く	話す	書く	語い
4級取得者	80%	79%	80%	70%	56%
同 非取得者	62%	64%	61%	42%	28%
差	18	15	19	28	28

特に「書く」技能と「語い」の分野で差が大きい。

5.2 教育現場での使い方

中学版 Can-do リストは次のような使い方が考えられる。

① 英検合格の可能性を探る。

これから英検を受験しようかなと思っている生徒

4 級 (4 級非取得者) 被験者 61 名

番号	読む	聞く	話す	書く	語い
1	74%	89%	56%	52%	28%
2	74%	49%	80%	72%	
3	70%	72%	87%	28%	
4	79%	74%	66%	34%	
5	56%	52%	44%	52%	
6	41%	48%	41%	21%	
7	49%		52%	31%	
8	52%				
平均	62%	64%	61%	42%	28%

にやらせてみて, その結果全国の回答者の8割以上が○をつけた項目の多くに○がつけば合格の可能性は高い, と判定できる。

もちろん生徒によっては自分を見つめる厳しさ (over-estimated or under-estimated) によってぶれがあるので注意が必要である。

② 英語学習の目標とする。

生徒に目標級のリストを渡して現状を認識させる。○がついていない項目を重点的に勉強すればよいことを知らせる。学期ごとに記入させると○が増えていくので成就感が生まれるだろう。

③ 教師の指導の参考にする。

協力者の感想にもあったように, 教師がこのリストを常に意識しながら授業を行い, 時に応じて生徒の自信の度合いを確認して授業改善に役立てることができる。

④ 新入生の英語力調査に利用する。

小学校でどの程度の英語力を身につけてきたのかわかり, 無駄を省き, 指導の焦点化を図ることができる。また, 個人指導にも役立つ。

5.3 実際の使用例

5.3.1 ① 英検合格の可能性を探る

② 英語学習の目標とする

これから英検を受験しようと思っている生徒や自分の英語力を知りたい生徒には該当級の「中学版 Can-do リスト」に次の内容を加えて, 自己診断を

行わせるとよい。

英検準2級、3級、4級、5級受験を考えている生徒のみなさんへ

私は「英検級取得者は授業の中でどんなことができるのか」という調査・研究をして、「全国の英検合格者の中学生はこんなことができている」というリストを作成しました。これを英検の受験や英語学習の目標作りの参考にしてください。

東京都港区立赤坂中学校 北原延晃

やり方

- ① 各項目の中で「あてはまる」「だいたいあてはまる」と思うものを選んで○をつけてください。
- ② その結果を先生が持っている全国3,000名の中学生英検合格者の結果と比較して、自分の英語力をつかんで英検受験や英語学習の目標作りの参考にしてください。

5.3.2 ④新入生の英語力調査に利用する

港区では小学校の全学年で週2時間の英語活動を行っている。今年度本校に入学した生徒は小学校1年生からではないが、5、6年生では確実に週2時間の英語活動を経験してきた。そこで小中のスムーズな連結を意図して区内全中学校で新入生への調査を実施した。

調査方法であるが、テスト形式にすると入学早々ダメージを受ける生徒もいると考え、この中学版 Can-do リストを使用することにした。具体的には5級のリストのうち、本区小学校英語活動で扱っていないと思われる項目を削除した。回答に要した時間は5分程度であった。資料は集計分析結果である。

参考文献 (*は引用文献)

- * Gardner, D. & Miller, L. (1999). *Establishing Self-Access*. Cambridge: Cambridge University Press.
- * 長江宏. (2005). 『国際教育研究所 紀要 第12号』. 国際

6 終わりに

「生徒が自ら学ぶ力をつけるために」始めたこの研究も終わりを迎えようとしている。研究の端緒は英検 Can-do リストを初めて見たときであった。このような宝を学校現場で生かさなくてはいけない、そう思って取り組んできた。それには前任校での少人数授業がさまざまなヒントを与えてくれた。途中、母の死に直面して研究が一時ストップしたことがあったが、これまで出会った全国の先生方から励みやアドバイスをいただき、研究を再開することができた。そしてこうしてでき上がったこのリストが全国で使われ、生徒の自学力向上と先生方の指導改善の役に立てばこれに勝る喜びはない。

謝 辞

今回このようなチャンスを与えてくださった(財)日本英語検定協会と選考委員の皆様は厚く感謝を申し上げる。そのサポートがなければ、これほどの大規模な調査はできなかったであろう。

最後になったが、リスト作りと本調査に協力してくださった北研の会員の方々や講演会で知り合った全国各地の先生方、SALL への橋渡しをしてくださった長江宏先生、常にサポートしてくださった元同僚の淀川百合子先生・飯塚剛先生、そして快く調査に応じてくれた全国3,000名の生徒諸君に心より感謝を申し上げたい。

- 教育研究所紀要編集委員会 会長 羽鳥博愛.
- * 日本英語検定協会. (2006). 『英検 Can-do リスト』.

港区立赤坂中学校 1年生 英語調査結果

2008.4.18.

やり方：各項目の中で「あてはまる」「だいたいあてはまる」と思うものを選んで回答用紙（別紙）に○をつけてください。

赤坂中学校 1年 A組 16名 B組 15名 合計 31名

赤坂小学校卒業生 26名 他小学校卒業生 5名

No.	読む	○の数
1	アルファベットの大文字と小文字が読める。	28名
2	アルファベットが順番どおりに言える。	27
4	英和辞書をひいて目的の語を見つけることができる。	13
5	日常生活の身近な単語を読んで理解することができる。(例：dog / eat / happy)	24
聞く		
1	初歩的な語句や決まり文句を聞いて理解することができる。(Three books. / I don't know. / Here you are. など)	9
2	アルファベットを聞いて、どの文字かを思い浮かべることができる。	28
3	日常生活の身近な単語を聞いて、その意味を理解することができる。(例：dog / eat)	24
4	曜日、日付、天候を聞き取ることができる。(例：Monday, September 14, cloudy)	13
5	日常生活の身近な数字を聞き取ることができる。(電話番号、時間、年齢など)	18
6	日常的なあいさつを理解することができる。(例：How are you? / Nice to meet you.)	29
話す		
1	アルファベットを見てその文字を発音することができる。	26
2	日常生活の身近な単語を発音することができる。(例：dog / eat / happy)	22
3	日常生活の身近な数字を言うことができる。(電話番号、時間、年齢など)	16
4	簡単なあいさつをかかわることができる。(例：Good morning. / Good night.)	25
5	あやまったり、お礼を言ったりすることができる。(例：I'm sorry. / Thank you.)	29
6	日常生活の身近な話題について、Yes / No で答える質問に答えることができる。(['好き』『嫌い』など)	18
7	日常生活の身近な話題について、What, Who, Where, When, How などではまる質問に短く簡単に答えることができる。(Where do you live? - In Shibuya. など)	5
8	3～5文で自己紹介や家族・友達紹介ができる。	3
9	友達と2行の簡単なペアワーク(対話)ができる。	12
書く		
1	アルファベットの大文字と小文字が書ける。	28

*網掛け項目は8割以上の生徒が「できる」と回答したもの